

■ 人材育成への取り組み

SBIグループが考える「有為な人材」

私たちが育成を目指す「有為な人材」とは、一部門・一企業の利益に貢献するだけでなく、広く経済・社会に貢献しようとする高い志を有し、ビジネスにおける高い専門性を備え、国際的視野を持ち、確たる倫理的価値観と実行力を伴う胆識を備えた人物のことをいいます。私たちは、日本の未来を担う「有為な人材」を一人でも多く輩出していきたいと考えています。

採用について、SBIグループではこれまで社会人経験のある転職者が中心でしたが、2005年度より初の新卒採用を開始し、2006年度より5年間で合計226名の新卒者が入社しました。これは、急速に業容が拡大するSBIグループの未来を担う優秀な幹部候補の確保と、独自の企業文化を育み継承する人的資源の育成を目的としたものです。

SBI大学院大学を通じた人材育成への取り組み

SBI大学院大学はSBIグループが全面支援をして、人材育成にも本格的に取り組むことを目指して設立いたしました。

SBI大学院大学では、学長兼理事長である北尾CEOの社会貢献に対する考え方から、確たる倫理的価値観と科学的経営理論とを具備した「人物」の育成を重要な教育方針として、「徳育」と「実学」に重点をおいた教育を実践しています。このような素養を備えた経営者の育成によって、日本経済の健全な発展のみならず、国際的な場においてもリーダーシップを発揮することができるプロフェッショナルの創出に貢献できると考えています。

また、SBI大学院大学では日本の将来を担うリーダーの早期育成という観点から、社会人経験者を対象として幅広い層からの入学志願者を募集しています。このような方々が働きながら受講できるよう、授業はインターネットを利用したe-ラーニングで提供しており、時間と場所の制約を受けることなく受講することが可能になっています。また2009年12月から、iPod touchやiPhoneなどで講義が受けられるモバイルラーニングもスタートし、2010

年4月からは、短期で必要な科目だけ受講することができる単科コースを開設しました(正科生への移行も可能)。これらの取り組みにより、時間に制約があるビジネスマンが時間を自由にコントロールし、勉強ができる環境を提供することで、社会人学生のさらなる利便性を高めています。

なお、2009年11月にはSBIインベストメントと共同で「SBIビジネスプラン・コンテスト2009」を開催し、日本の産業・経済・社会を飛躍させる事業プランと人材を発掘し、その事業化を支援しています。

SBI大学院大学の軌跡

- 2006年5月 **人材育成を担うSBIユニバーシティ(株)を設立**
 - ・「人物をつくる」ため、講師を招き公開講義を開催
例)孔建、Steve Chang (Trend Micro創業者)、安岡 正泰
 - ・大学院大学設立準備
- 2007年4月 文部科学省に大学院大学設置を申請
- 2007年12月 文部科学省よりSBI大学院大学設立の認可取得
- 2008年4月 **SBI大学院大学が開校**
 - ・起業家育成のためのプロフェッショナル教育機関
 - ・最新の技術を利用したe-ラーニングによる教育体制
- 2009年11月 「SBIビジネスプラン・コンテスト2009」開催
- 2010年3月 第1期生の修了式挙行
- 2010年4月 単科コース開設

～今後～

海外のビジネススクール(B-Schools)との提携を模索



iPhoneでの授業配信の図



SBI大学院大学の学位授与式

